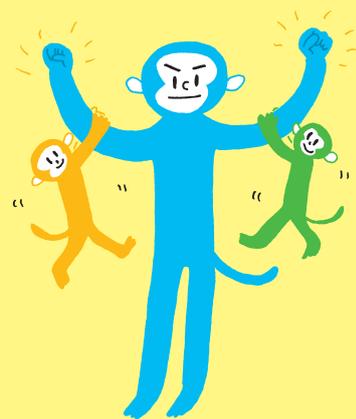


被災地の復興と NPOの 組織力



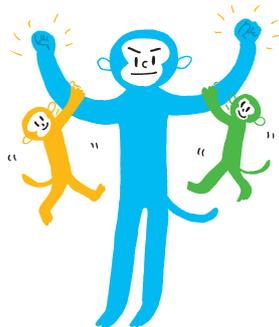
事例集

NPO育成・強化プロジェクトに参加した団体の歩みと今後



被災地の復興と
NPOの
組織力

NPO 育成・強化プロジェクトに参加した団体の歩みと今後



市民活動団体(NPO) 育成・強化プロジェクト

はじめに

東日本大震災を受けて、国際NGOワールド・ビジョン・ジャパンは、被災地支援のために国内外から集められた寄付金を日本NPOセンターに託し、「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」が誕生しました。プロジェクトは発災1年後の2012年春に始まり、2014年6月までの2年強のあいだ、被災した東北3県のNPOの組織基盤強化とリーダー育成を目的として実施されました。

プロジェクトが目的をどの程度達成したのか、誰に何をもたらしたのか、といった問いに答えるため、日本NPOセンターではプロジェクトの「事業検証報告書」をさきに発行しました。これは2013年後半に着手され、約半年をかけて参加メンバーや団体、関係者へのインタビューやアンケートを行い、これらの分析をもとに、おもにプロジェクトの有効性を検証する目的で作成されたものです(*)。

このたび、みなさまのお手元にお届けするのは、いわば事業検証の第二弾です。「事例集:被災地の復興とNPOの組織力—NPO育成・強化プロジェクトに参加した団体の歩みと今後—」と題された本書は、いわゆる報告書とは一線を画すものです。プロジェクトに参加した8人・団体と、プロジェクトでメンターをつとめたNPO支援組織のリーダーが所属する3団体にスポットライトをあて、プロジェクトがきっかけとなって、参加メンバー個人や団体にどういった変化が生じたかを捉えようと試みています。「事例集」という名前はついていますが、それぞれのメンバーや団体がプロジェクトで「なにをやったか」ではなく、プロジェクトに参加したことで「なにが起こったか」をあぶり出そうとするものです。

この冊子に取りあげたすべての事例は現在進行形です。震災からの復旧期を経て、被災地は復興期にはいっています。プロジェクトの参加団体は、非常時から平時へと事態が移行行くなかで、組織としての新たな方向性を見だし、歩み始めています。そういった被災地のNPOの断面図を、事例という形でいくつかお見せし、プロジェクトによって起こった変化だけでなく、登場人物の思いや新たな覚悟を感じていただきたいと思います。

「事業検証報告書」と同様、今回、日本NPOセンターがこの「事例集」を作成できたのは、ワールド・ビジョン・ジャパンの理解があったからこそです。ここに深謝の念を表したいと思います。また、事例として登場し、インタビューに快く応じていただいた参加メンバー・団体の方々、メンターの方々、それぞれの団体の関係者や支援者の方々のご協力に深くお礼を申し上げます。

2014年9月

特定非営利活動法人 日本NPOセンター

(*)「事業検証報告書」は、日本NPOセンターのウェブサイト(<http://www.jnpoc.ne.jp/?p=6367>)からダウンロードできます。

市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト

2年間の軌跡

注：プロジェクトを通じて成長した参加者、関係者の姿を、日本NPOセンターのキャラクターで表現しています。

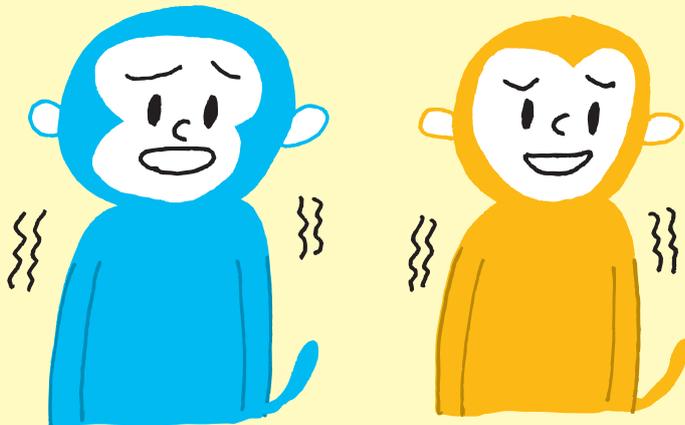
このプロジェクトは、東日本大震災により被災した東北3県のNPOの組織基盤強化とリーダー育成を目的として実施しました。2012年5月から2014年6月まで、2年間にわたって実施したこのプロジェクトの軌跡をたどってみましょう。

2011年3月11日 東日本大震災



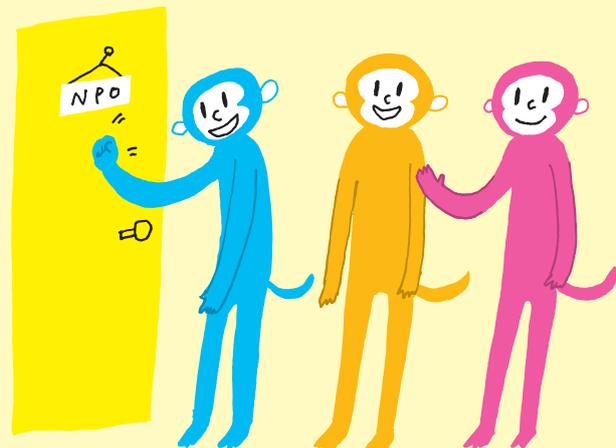
被害規模は甚大で、広範囲に及んだ。行政機関も麻痺し、被害状況の把握や救援活動もスムーズに進まなかった。

地震、津波、原発事故をあわせた「複合災害」であった。被災地における課題は複雑化し、復興への道のりは長期化している。



地域の復興のために自分たちで動き出そう!

震災を機に、既存のNPOだけではなく、地域の復興のために地元で新たなNPO等の団体が立ち上がった。



NPO 育成・強化プロジェクトがスタート

国際NGOワールド・ビジョン・ジャパンと日本NPOセンターは、被災した地域発で継続的かつ多面的な支援をつくりあげていくために、被災地域のNPOの組織基盤強化とNPOリーダー育成が急務であるとの認識を持ち、本プロジェクトが開始された。

2012年5月～8月

「NPOを磨く15の力」 集合研修

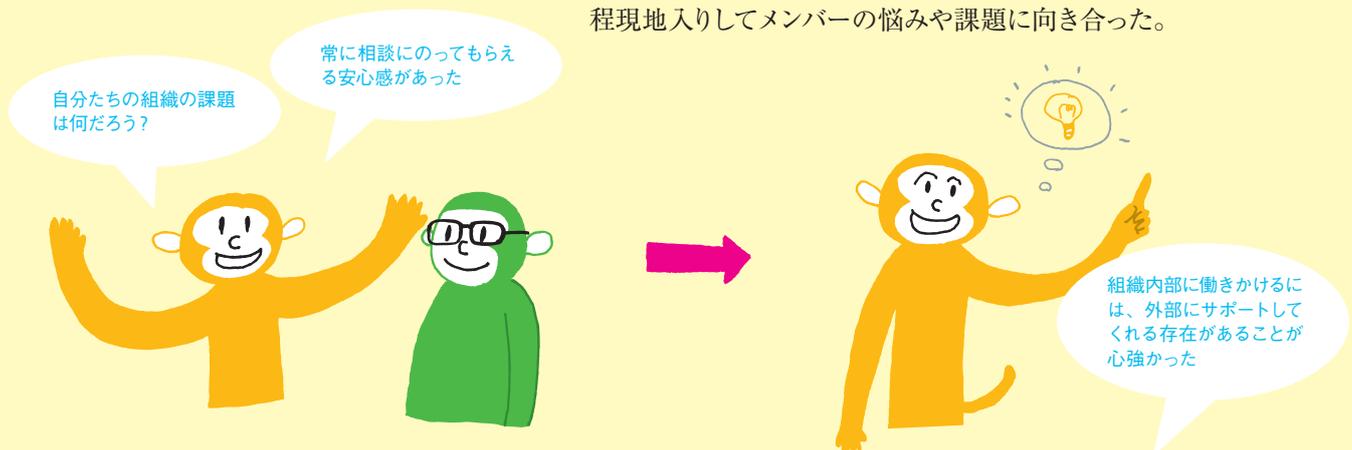
NPOリーダーに必要な組織運営の知識として、基盤編、事業編、組織編、コミュニケーション編の4つに大別された分野で合計15のテーマにわけて実施。この講座の内容を、後に「NPOリーダーのための15の力」と題したワークブックとして作成した。



2012年9月～2013年7月

メンターサポートプログラム

NPO支援の実績とノウハウを経験値として持つ全国のNPO支援センターのCEO級のスタッフがメンターとなり、伴走型のリーダー育成を行った。メンターは日々のメールや電話だけではなく、期間中3回程現地入りしてメンバーの悩みや課題に向き合った。



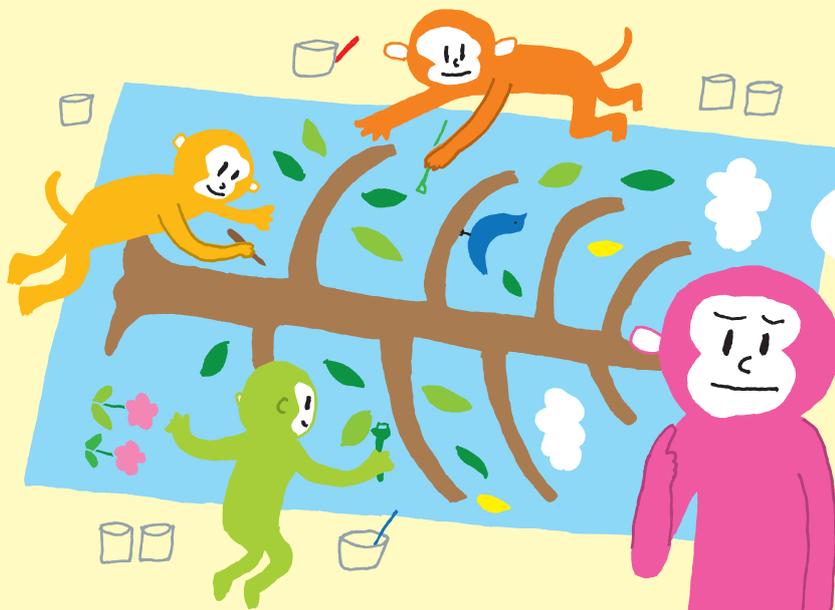
実践応援プログラム

集合研修で学んだことを踏まえ、メンターサポートにより明確になった組織課題を解決に向けた実践をサポートするプログラム。

基盤整備コース、インターンシップコースの2つのコースがあった。

スタッフ全員と意見交換をして、中長期計画を策定しました

団体パンフレット作成をきっかけに、団体の活動が整理できました



このような考え方もあるのか!

このやり方は自分たちの地域でもできそう!

さまざまな挑戦をしてみるが、組織になかなか理解されないことや思い通りに進まないことも

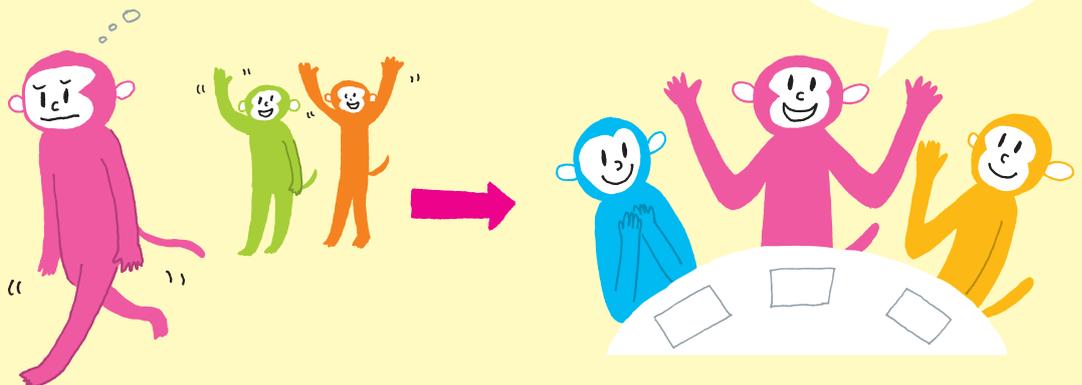
自主勉強会・追加研修

参加メンバーの自主企画として、もっと知りたいテーマについて勉強会を開催したり、お互いの地域を訪問して理解しあうことを行った。

もう辞めたい...

やっても無駄なのでは...

悩みもお互い知っているから、気兼ねなく話せて会うとほっとする。



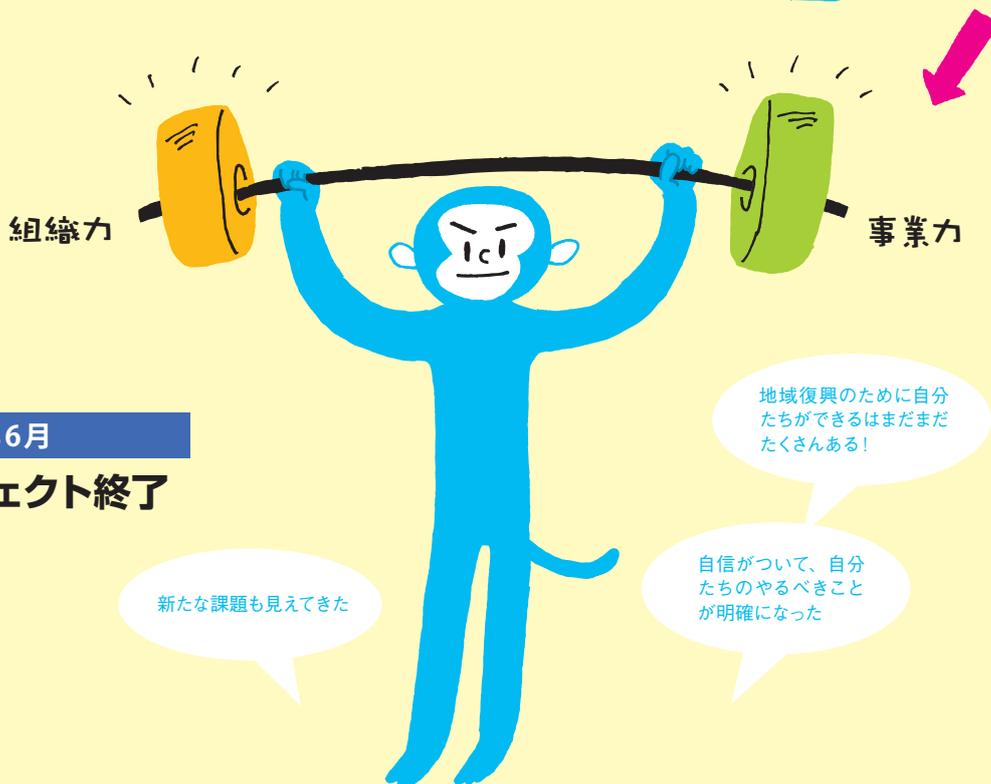
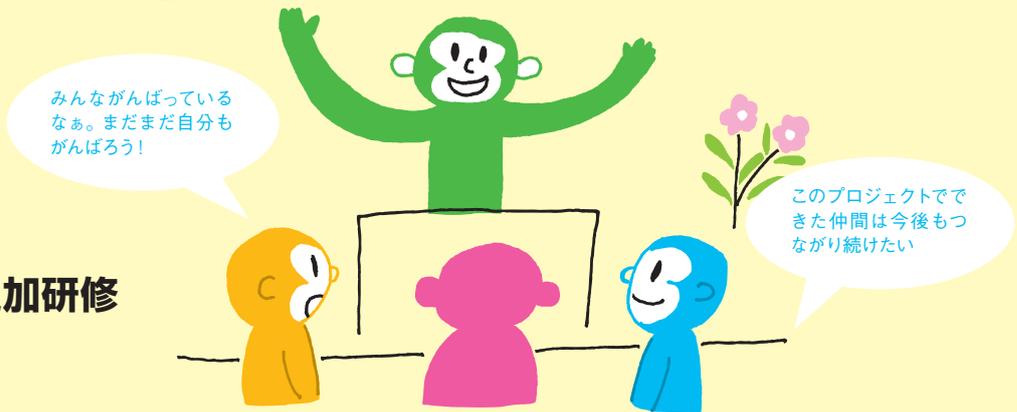


2013年10月

組織力向上サポート助成

参加メンバーの方が、これまで培ってきた力を、事業、運営の実施責任者として発揮し、事業面・組織面の双方から、組織力を総合的に向上することを目的として、組織力向上サポート助成を実施した。

自主勉強会・追加研修



2014年6月
プロジェクト終了

※事例紹介のなかで、プロジェクト用語はゴシック体で表しています。

● 目次

はじめに	5
市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクトの軌跡	6
目次	10
取り組み事例紹介	
事例1 「15の力」を団体の力に	12
川原康信さん 特定非営利活動法人 アットマークリアスNPOサポートセンター	
コラム 組織内世代交代がサービスの厚みへ	18
手塚明美さん 特定非営利活動法人 藤沢市市民活動推進連絡会	
事例2 地域資源を生かしたまちづくりへ	19
大棒秀一さん 特定非営利活動法人 立ち上がるぞ!宮古市田老	
事例3 若者×地域= GINGAの継続のために	25
八重樫綾子さん 特定非営利活動法人 いわてGINGA-NET	
事例4 移動教室で得た学びと自信	31
坂本 一さん 一般社団法人 まなびの森	
事例5 子どもが安心して遊べる場所を ～思いから形、そして組織運営に～	37
柴田滋紀さん 特定非営利活動法人 にじいろクレヨン	
コラム メンターによる伴走型支援を地域で実践	43
阿部圭宏さん 特定非営利活動法人 しがNPOセンター	
事例6 NPOの「面白さ」に気づき、自主事業展開へ	44
内山愛美さん 特定非営利活動法人 ふくしまNPOネットワークセンター	
コラム 被災地との関係が生んだ、新たな研修制度	50
内田洋子さん 特定非営利活動法人 NPO高知市民会議	
事例7 子どもと地域を支える活動の自立	51
大波尚美さん 小国からの咲顔	
事例8 子ども・若者支援の思想と経営 ～「体当たり合宿」の効果～	57
七海圭子さん 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま	
執筆者・協力者一覧	64

被災地の復興とNPOの組織力

NPO 育成・強化プロジェクトに参加した団体の歩みと今後



2012年5月に始まった市民活動団体(NPO) 育成・強化プロジェクト(以下、育成・強化プロジェクト)は、2014年6月で終了しました。この2年間のプロジェクト期間に、参加したメンバーはそれぞれどのような取り組みをしてきたのでしょうか。その取り組みによって、メンバー・組織にどのような変化が見られたのでしょうか。

参加メンバーのなかから、8人の取り組みと、メンター3人の地域での取り組みを紹介します。